

令和4年度全国公共牧場運営改善研修会開催要領
(オンライン形式)

1 趣 旨

夏期預託等を通じて畜産振興に大きく貢献してきた公共牧場は、近年、預託頭数の減少に加えて、労働力不足や管理者の草地・家畜管理技術の習熟不足によって、公共牧場本来の機能が十分に発揮されず経営不振に陥る悪循環から、廃止又は活動の中止を余儀なくされた事例が見受けられる。反面、草地・家畜管理技術の適正化によって公共牧場の本来機能が充実・強化され、預託頭数が著しく増加している事例も見受けられる。

一方、先般公表された「みどりの食料システム戦略」及び「持続可能な畜産物生産の在り方検討会報告書」の提言を踏まえ、輸入飼料への過度な依存から脱却し、国産飼料の生産・利用の拡大が求められる状況下において、地域の飼料基盤としての公共牧場の重要性は一層高まっており、その健全な経営のもとで利用農家が期待する役割・機能を発揮することが重要となっている。

このようなことから、公共牧場の経営の健全化と機能の充実・強化を図るため、放牧技術の基本、経営管理の合理化及び公共牧場を核とした地域活性化並びに公共牧場の新たな活用方法について研修会を行う。

2 主 催 一般社団法人日本草地畜産種子協会

3 開催日時 令和5年3月17日(金) 13:30~17:00

4 開催方式 Zoomを使用したオンライン開催

5 参集範囲

全国の公共牧場管理者・職員、管理運営受託組織の長・職員、農協役職員、都道府県及び市町村職員、地方農政局等

6 内 容

(1) 開 会 13:30(5)

(2) 研 修

- ① 公共牧場をムダなく使う集約的な放牧管理技術について 13:35~14:05(30)
ー 肉用牛の公共牧場を上手く使いたい ー

一般社団法人日本草地畜産種子協会 放牧アドバイザー ^{なしき} 梨木 ^{まもる} 守 氏

(要旨) 慣行で行われている放牧について技術的な問題点と改善点を明らかにし、放牧技術の基本を解説する。

- ② 公共牧場の運営改善技術について 14:05~14:45(40)

浦幌町模範牧場指定管理者 (株) 希興 代表取締役 ^{みやけ} 三宅 ^{ひであき} 英彰 氏

(要旨) 施肥等の草地管理及び放牧技術の改善、経営の合理化等赤字経営を黒字経営にするためのノウハウを解説する。

- ③ 公共牧場を核とした地域活性化について 14:45～15:25 (40)
－ 意識改革による牧場経営の改善 －

一般社団法人葛巻町畜産開発公社 顧問 ^{なかむら}中村 ^{てつお}哲雄 氏

(要旨) 公共牧場の役職員の仕事に対する取組み姿勢の改善、民間感覚への意識改革等について解説する。

〈 休憩 〉 15:25～15:35 (10)

- ④ 公共牧場の新たな活用方法について 15:35～16:05 (30)
－ 公共牧場による国産粗飼料の生産・供給の取組み －

大野地区共同利用模範牧場 場長 ^{はやし}林 ^{しげき}茂樹 氏

(要旨) 放牧による繁殖牛預託事業を基本としつつ、粗飼料（乾牧草及びデントコーン）の生産・供給を行う取組事例について紹介する。

- ⑤ 令和5年度予算の概要について 16:05～16:25 (20)

農林水産省畜産局飼料課 課長補佐（草地整備計画調整班） ^{もりおか}守岡 ^{あやこ}綾子 氏

(要旨) 農林水産省における公共牧場の機能強化支援対策（平成5年度当初予算等）の概要について報告する。

- (3) トークセッション 16:25～17:00 (35)

講演者と参加者との双方向のやりとりを通して現場の課題の把握や解決策の助言等に資するため、講演者に対する質問への回答と併せて、公共牧場の経営の健全化、機能の充実・強化及び新たな活用方法について意見交換を行う。

〈ファシリテーター〉

一般社団法人日本草地畜産種子協会 放牧アドバイザー 梨木 守 氏

〈パネリスト〉

- ① 浦幌町模範牧場指定管理者 (株) 希興 代表取締役 三宅 英彰 氏
- ② 一般社団法人葛巻町畜産開発公社 顧問 中村 哲雄 氏
- ③ 大野地区共同利用模範牧場 場長 林 茂樹 氏
- ④ 農林水産省畜産局飼料課 課長補佐（草地整備計画調整班） 守岡 綾子 氏

7. 参加料：無料。ただし、インターネットに接続できるパソコン又はモバイルデバイス（内蔵スピーカー、又は外付けイヤホン）は参加者にてご用意願います。

8 視聴方法：Zoomにて実施いたしますので、Zoomに接続できる環境をご準備ください。
※後日、マイナビ農業から参加予約者に向けて視聴方法のご案内を行う予定です。

9. 参加申込み方法

(1) マイナビ農業サイト (URL : https://agri.mynavi.jp/2023_01_27_216093/) からお申込みください。

申込期間：令和5年1月27日（金）から令和5年3月15日（水）

(2) 参加予定枠 150名程度

10. 問い合わせ先

(1) Web研修会の実施内容に関すること

一般社団法人 日本草地畜産種子協会 草地畜産部 担当：伊藤雅敏

(TEL : 03-3251-6501 FAX : 03-3251-6507 E-mail : itoh@souti-fsa.or.jp)

(2) Web研修会への参加方法及びWebサポートに関すること

株式会社マイナビ地域活性 CSV 事業部 農業活性事業統括部 営業部 東日本営業課

担当：宮川

(TEL : 03-6267-4019 E-mail : com-agri_seisaku-east@mynavi.jp)

令和4年度 全国公共牧場運営改善研修会 のご案内

—公共牧場の経営改善のために—
(技術・経営・意識の基本を見つめ直す)

令和5年

3月17日(金)

13:30~17:00



受講者の声

研修内容

1

公共牧場をムダなく使う集約的な放牧管理技術

慣行で行われている放牧技術の問題点と改善点を明らかにし、**放牧技術の基本**を解説します。

講師

梨木 守 氏

一般社団法人日本草地畜産種子協会 放牧アドバイザー
農林水産省の農業試験場等で主に放牧管理技術の研究に従事し、
退官後は本会の放牧アドバイザーとして全国各地で放牧技術の現地指導や講演等を行っています。

- 放牧の基本的な技術の実践とそれを行う**実行力がどれ程大切なのかを学んだ。**
- **企業精神、コスト削減、ムダの見直し、全て感銘を受けた。**本当に良くしようと思ふ姿勢が欠けていた。
- 従来、間違った技術で**どれほど無駄な経費を使っていたか認識させられた。**反省あるのみ。
- 公共牧場を実際に管理された事のある**先生方の話は三者三様で非常に分かりやすく、目から鱗が落ちた。**
- 従来の研修と異なり、**もっと多くの人に聞いていただいて然るべき大変充実した内容でした。**

2

公共牧場の経営改善技術

施肥等の草地管理及び放牧技術の改善、経営管理の合理化等**赤字経営を黒字経営にするためのノウハウ**を解説します。

講師

三宅 英彰 氏

浦幌町模範牧場指定管理者 (株)希興 代表取締役
浦幌町模範牧場長として赤字の浦幌町模範牧場を黒字に転換し、
その黒字を一般会計へ繰り出すまでに経営改善した経験を活かした経営改善のポイントについてご講演いただきます。

3

公共牧場を核にした地域活性化 (意識改革による牧場経営の改善)

公共牧場の役職員の仕事に対する**取組み姿勢の改善、民間感覚への意識改革等**について解説します。

講師

中村 哲雄 氏

一般社団法人葛巻町畜産開発公社 顧問
公共牧場管理一筋に43年、人生の63%を公共牧場と共に歩まれ、
地域の活性化と経営改善に取り組んでこられました。

4

公共牧場の新たな活用方法 (国産粗飼料の生産・供給の取組み)

放牧による繁殖牛預託事業を基本としつつ、**粗飼料(乾牧草・デントコーン)の生産・供給**を行う取組事例を紹介します。

講師

林 茂樹 氏

大野地区共同利用模範牧場 場長
粗飼料の生産・販売などにより、畜産農家の労働負担の軽減と牧草収入確保と経営安定に寄与しています。

5

令和5年度予算の概要

農林水産省の**公共牧場の機能強化支援対策(令和5年度当初予算等)**を報告します。

講師

守岡 綾子 氏

農林水産省畜産局飼料課
課長補佐(草地整備計画調整班)

問い合わせ先

- (1) Web研修会の実施内容に関すること
一般社団法人 日本草地畜産種子協会
草地畜産部 担当:伊藤雅敏
TEL:03-3251-6501
FAX:03-3251-6507
E-mail:itoh@souti-fsa.or.jp

- (2) Web研修会への参加方法及びWebサポートに関すること
株式会社マイナビ 農業活性化事業統括部
担当:宮川
TEL:03-6267-4019
E-mail:com-agri_seisaku-east@mynavi.jp

トーク
セッション

講演者と参加者との双方向のやりとりを通して、講演者に対する質問への回答と併せて、**公共牧場の経営の健全化と機能の充実・強化に向けて討論集会を行う。**